国土交通省
道企第1298号
19.5.31

猪建第　　９２　　号
平成１９年５月　２日

国土交通省道路局長様

兵庫県猪名川町長　真　田　保　男

中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成１９年４月２日付け国道企第１１４号により依頼のありました標記の事について下記のとおり回答いたします。

記

１．重点化を進める上で特に優先度の高い政策

第二名神自動車道の整備は、本町にとっての広域的な道路ネットワークの形成などによる、地域の自立と競争力強化につながるものであり、渋滞等の支障のある区間の高速道路網の充実など、高速ネットワークの機能強化が重要であると考える。

また、地域の活性化等地域生活を支える道路ネットワークを確立するためには、高速道路へのアクセスが重要であり、本町における第二名神ICへの効果的なアクセス道路のネットワーク化を望むものであります。

２．効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

事業効果の早期実現に向けた取り組みで目標宣言プロジェクトや用地取得難航部分の土地収用手続きの簡素化、入札制度の改善など、事業の早期完成が効率化につながると考えます。

３．その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

本町においては、県道川西篠山線など一時改築が済んでいる道路であっても、カーブが多く事故等の発生状況も多い危険な道路についての安全対策への取り組みが必要と考えます。

阪神間北部に位置する都市近郊の本町においては、時代の流れとともに通過交通が大量に発生し、主要地方道だけではなく一般県道においても渋滞までは行かないが車のスピードアップによる危険な状況が生じている。主要地方道等の早期改良計画や地域住民を交えた道路計画についての協議が、継続して早期に取り組める対策をお願いします。

少子高齢化に伴う人口減の傾向にある地域もあるが、国土・県土の自然や生活のしやすさから安全・安心のまちづくりを進める上で、生活弱者の切捨てのない経済効果だけではない地方が自立できる道路整備も必要と考えます。